

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 まある		
○保護者評価実施期間	令和7年2月25日		～ 令和7年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数) 22人
○従業者評価実施期間	令和7年2月25日		～ 令和7年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日		

事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1 個別対応が充実しており、保護者様から高評価を得ている。	職員が一人ひとりの児童に対して、マンツーマンで対応できる体制を整えている。 これにより、個々のペースや特性に寄り添った支援を行い、安心して活動に取り組める環境を提供している。	個別対応が継続的にいえるよう、職員体制の確保や業務効率向上に努め、人と時間の確保を行っていく。
2 外部からの人材(アルバイト職員、ボランティア、実習生受け入れなど)が多く、児童にとって多様な人と関わる良い学びの環境が整っている。	地域住民や教育機関への積極的な発信と関係作りを法人として行っている。	児童にとって良い学びの機会となるよう支援を行うとともに、アルバイトや実習生の指導を通じて後進の育成や人材確保にも努めていく。これにより、質の高い支援を継続し、より良い環境づくりを進めていく。
3		

事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 保護者との直接的なコミュニケーションの機会が少ない。	保護者様向けに企画した行事の内容や時間が、保護者様のニーズと合っていない状況が見られる。	参加しやすい行事を企画するために、アンケートなどを活用し、保護者や児童のご意見を伺うことが必要である。いただいたご意見を参考にしながら、より多くの方楽しんでいただける行事の実施を目指していく。
2 業務の質を維持しながら量をこなすバランスが難しい状況がある。	支援準備や支援記録の記入、申し送りなどに必要な時間の確保が課題となっている。	支援の充実を図るために、業務の優先順位を明確にし、効率的な業務フローの構築や役割分担の見直しが必要。また、必要に応じてICTツールの活用や記録の簡素化を進め、生産性を向上できるよう検討していく。
3		

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援事業所 まある				公表日	令和7年3月25日	
						利用児童数	33人	回収数 22人(66.7%)
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22				いつものびのびと活動しているのが 伝わります	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1			送迎も2人体制がとれているし、子ど も1人に職員が必ず1人ついているの で	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1			バリアフリー化はまだ整える箇所が あると思うが、個別をやる部屋や入 り口に身支度スペースを作るなど工 夫はしていると思う 学習スペースと遊ぶスペースが分か れているのが子供たちにとってメモ リハリがあって分かりやすい環境だ と思います	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1			子供が自分で手を洗える場所がある といいと思います。	業者に相談し、室内に手洗い場を設置す ことは出来ないと言われましたの で、代替案を検討していきます。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	22					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	21	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	22					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	22					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	22					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	16	5	1			
保 護 者 へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	22					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22				ハグでの報告内容がとてもわかりや すいです	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	18	2	2			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	21		1		その都度変化などがあつたらLINEな どで連絡し、まあるさんでの様子も 報告して下さるので安心していま す	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20		2			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22					

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	10			父母会があればよいと思います。	参加しやすい行事の案内や企画を行い、参加率の向上を目指します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22				困り事があるとすぐに面談や電話面談で対応していただき解決できるようにしていただいています	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	5			送迎時の安全に対する取り組みなどについて定期的に説明があると安心できます。（安全に対する取り組みや車での送迎時の管理についてなど） 感染対策の面で、以前参観で伺った際に、おやつを食べる時にウェットティッシュで手を拭いたのみだったのが気になりました。 幼いうちは体調を崩すことも多く、沢山の感染症をもらうため、自宅や幼稚園でもまずは外から来た時は手洗い・うがいを習慣付けています。まあでは到着時やおやつの前などに手洗いをする場面を見たことがなく、風邪程度なら良いがコロナやインフルエンザが流行っている時は少し気になりました。	衛生面の強化を行い、手洗いのタイミングを見直す事や代替案を検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	4			知りません。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3			防犯面について、エレベーターで6階フロアで降りると各部屋を施錠しているわけでもなく、インターホン等もないため、部外者など誰でも入室可能では？と思ったことがあります。 実際に自分が参観や面談で伺った際にも、廊下には誰もおらず、名前や用件を確認をされることもなく子供たちが活動している部屋に勝手に入ることができます。 利用施設内は安全だと思うが施設が入る建物自体が古く、階段のタイルは剥がれたまま放置されていたりするの気になる	インターホンや見守りカメラの設置を検討し、防犯面の強化を図ります。
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1			子ども同士のちょっとした接触でも、どのように起きてどう対処したか報告を受けている 怪我をしてすぐにLINEで写真付きで報告していただきどのような状況だったか、どのような対応をしたのかも教えていただきとても分かりやすく安心しました		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22				がんばりシールがたまるのが楽しいみたいです	
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				いつも保護者や子どもに寄り添った支援をしていただいていたとても満足しています。	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援事業所 まある

公表日 令和7年3月25日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		集中できる環境づくりや怪我をしない環境づくりのため、仕切り等で場所を区切って活動をしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		お子さんの状態に応じて個別対応をしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		スケジュールや活動内容が視覚化されていたり、集中して身支度や活動ができるように構造化した環境づくりを進めたりとすることができている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の清掃、週一回おもちゃの消毒、月一回のフィルター清掃に取り組んでいる。遊ぶ内容に合わせて場所を区切り提供している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		幅広い職員の意見を聞き、業務改善に向けて取り組むことができている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		年間で1人1回は必ず受けられるように定めている。 研修情報を事業所内で発信している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントツールを使用し、今の子どもの発達がどの程度なのかを参考にしながら支援を進めていくことができている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		係で相談をして立案をすることができている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児童が活動に飽きないように日々活動内容を変更することができる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必要な情報については軽く打ち合わせをすることができている。	必要に応じて、支援前後の打ち合わせを個別に行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必要な情報については話し合い、振り返りを行うことができる。	必要に応じて、支援前後の打ち合わせを個別に行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回記録を残し、次の支援に生かすことができている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管だけでなく担当職員も参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ご家庭によって連携を取ることが出来ていた。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じてケア会議を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		専門機関と連携し、実際に子どもの姿と職員が支援をしている姿を見てもらい、助言をいただいている。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○				
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		直接会ってお話ができない場合もあるが、日々の様子を文面でお伝えすることはできている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に行われる面談や送迎時などにお話しを伺うことができている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		定期的に子育てサロン等を実施し、保護者同士の連携が進むようにしている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		アルバイトや実習生、ボランティアなど、第三者の方に来てもらい、開かれた事業運営を図ることができている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難経路を確認し、避難訓練も実施することができている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		緊急時の対応について、シミュレーションも交えて研修を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			